

一家4人でMyuに参加 幸せな日々



みの〜れ住民劇団 演劇ファミリーMyu

お ぶ き え り か
尾吹恵里香 さん

みの〜れと共に生活するスタイル
Minole Life
のすすめ

No.209

Myu役員会で会計を務め、2人の娘はキャストとして舞台に立ち、夫の淳さんは舞台美術を製作するスタッフ。一家4人でMyuに参加している、小美玉市北浦区にお住まいの尾吹恵里香さんにインタビューします。

人生のそばに音楽を感じて

小中高と小美玉市で育ち、常に音楽が人生のそばにありました。

母の勧めで、幼稚園で音楽教室、小1でピアノを始め、今も趣味で弾いていて、娘たちのピアノ発表会で連弾しています。サックスは美野里中吹奏楽部で出会い、高校・短大・社会人とずっと続けてきました。長女出産を機に離れていましたが、4年前のMyuミュージカル「わが家の天ぷら」で10年ぶりに舞台に立ち演奏しました。

みの〜れとの出会いは、みの〜れが誕生してすぐのこと。サックスの個人練習で練習室を利用したことがきっかけで、みの〜れ住民劇団ジョリーフォレストジャズオーケストラの立ち上げに関わりました。「初めて会う

人たちと話し合うことがとても緊張しましたが、こうやってプロジェクトが実現していくんだなと勉強になりました。大変だったけど楽しかったです」と尾吹さん。楽団がきっかけで夫の淳さんと出会い、結婚。出産を機に退団するも、みの〜れとの縁はつながっていました。

「長女は人前に出て緊張しない子だったので、Myuに入れてみようと思って」小1の時にアンサンブル参加。以来ずっとMyuの公演に出演し続けています。Myuの子たちは学校も学年が違ってもみんな仲よし。舞台が終わると「みんなに会いたい」と話しているそう。

「Myuは子どもも大人も本気を出せる場所。習い事は家族みんなで一緒にほださせませんが、Myuは4人で参加できますからね。家の中で共通の話題があるというのはとてもありがたいで

す」と尾吹さん。

2年前、Myuの新作ミュージカルを創るアイデア会議に年長児の次女も連れて参加したときのこと。「おばけや妖怪の話が好き」と次女が言ったアイデアが採用されて、それがミュージカル「私とおばけのケーキ屋さん」に。1年後の公演で次女は初めて舞台に立ちました。「子どものアイデアをどんどんかたちにして実現して、あれだけのクオリティに仕上げられるMyuって本当に凄い」と声を弾ませます。

やりたいことをどんどん実現させていく、みの〜れに集う仲間たちを近くで見ている刺激を受ける日々。「私もまたサックスを手に舞台に立てたらいいなと思っていました」と語る尾吹さん。幸せな尾吹家の雰囲気は伝播して、第2第3の尾吹家が現れることを期待しています。

(藤田佐知子)